

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	錦生公民館
開催日	9月25日（木）	開催時間	19：30～20：50 （1時間20分）
参加者数	12名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

・ 地区代表区長幹事

・ 市長【19：33～19：40】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【19：45～20：10】

・ 質疑【20：10～20：50】

Q（参加者）参考資料の中で、「西側の急峻な山林」と書かれているが、すべて急峻なわけではない。名張全体から見たときに、このあたりの山はすべて急だとしてしまうのは、地元に住んでいるものから見ると、ちょっと違うように思う。

A（部長）先ほども説明させていただいたとおり、これは皆さんと話し合っただけで決めたものではなく、あくまでも事務局が参考に考えた案ですので、今後皆さんでもっといい案を考えていただければと思います。

（司会者）ご意見を計画に反映させていきたいと思いますので、適当な言葉があれば教えてください。

Q（参加者）財政状況が厳しい中、名張は合併せず単独の道を選択した。この結果は市民の意思によるもので異論はない。

名張の将来を考えたときに、人の流れをよくするアクセスの問題から考えていく必要があるのではないかと。この厳しい経済状況の中、企業も衰退し、人口は減少傾向にあり、地元商店も寂れている中で、近隣の農村から名張に簡単に名張にきて、買い物をしてもらうという日常のことから名張を活性化していくということが必要。名張に入ってくる道路は非常に少なく、また狭い。まず周辺から道路の拡幅をお願いしたい。

A（市長）合併については私の公約でもあり住民投票を実施しました。自治体の枠組みが変

わっていこうとする重要な時期に決断しなければならない中で、116 回説明会を実施し、2月の住民投票で60%の方が参加いただき、そのうちの70%の方が厳しくても単独でやっていこうという結論を導き出していただきました。このことは市民の皆さんが名張に誇りを持っているということだと思います。その期待を裏切らないようなまちづくりをしていかなければいけないと思っております。

名張の宿命として、振興住宅地の関係で急に人口が増え、同世代の方が急速に高齢化していく、また次の世代の方がお住まいいただいていない場合が多く、急速に高齢化、人口減少が進むという構造になっています。そのために税収も極端に減っていくという状況にあり、そういったことを深刻に受け止め対処していかなければならず、そのための総合計画でもあります。

生産工場の誘致は非常に難しい状況にあります。名張の企業ですら、人件費の安い海外へシフトしていく時代です。ただ、名張の雇用を膨らませているのは、保健医療、福祉、教育などの分野ですので、それらを強調した誘致、創設に努めていかなければならないと思っております。

また、商業の衰退というお話がありましたが、実は大規模店の売り場面積は津市よりも名張の方が大きく、周辺地域を考慮に入れた戦いが始まっているのだと思います。そこで周辺の道路整備ということになりますが、奈良名張線は着々と進んでいますし、山添桔梗が丘線はふるさと農道に市道でアクセスしていくことを考えています。ご当地の都祁名張線は拡幅に限界があり、奥宇陀広域に通じる路線の整備を県に要請しています。それまでの間の対策として市道の整備、鹿高1号線の要望もいただいています。また、災害対策で、国土交通省が砂防ダムの建設を予定しており、通常は4mの工事用道路を6mに広げる中で、それを活用したアクセスを検討しています。近隣から名張に入りやすい工夫を建設の担当と国土交通省で検討しているところです。

Q (参加者) 10 ページの広域的な連携、伊賀地域の連携について、消防、救急医療、環境衛生については青山町と連携をとっているが、一方で介護保険については青山町は上野と連携を取っている。青山町は名張を向いている部分と上野を向いている部分があるが、名張市は将来広域連携をどう考えているのか。伊賀市の青山町とどう連携していくのか？

A (市長) 消防は単独の方がいい、清掃工場は合同の方がいいなど、こちらとしてはいろいろな考え方を持っていて、提案もしていますが、合併までの間にいろいろな作業、手続きをしていくのは大変つらいと6市町村が言われています。合併されて2年間を目途に消防、衛生組合、介護保険、国保などをひっくるめて作業を進めていくことを提案しています。ただ、合併時には、衛生組合であれば伊賀市の中の青山町をエリア指定し、名張市と伊賀市の一部事務組合とする作業をしなければなりません。現在の清掃工場は、青山町も建設費用を負担していただいていますので、20年6月までは使用する権利があります。新清掃工場建設後のことはこれからのことになりますが、合併後2年以内には整理したいと考えています。

Q (参加者) 参考資料を見ると、分析の仕方、捉え方にやはり外からの見方があると思う。確かに急峻なところもあるが、このあたりはどちらかというとなだらかな県境という違いがある。山を背負っていることには間違いはない。それから集落の前を国道165

号が走っているということは非常に重要で、地形が南北に長いという特色も捉えて錦生を考察していただきたい。さらに国道に沿うように宇陀川があり、護岸工事など、後ろの山と前の川で治山治水ということにも力点をおいていただきたい。

まちづくりの最重要課題として、名阪国道へのアクセス道路の問題がある。かえって交通事故が増えるという意見もあるが、将来的には結馬、井手あたりから笠間までつながるプランと二大構想で考えていただきたい。錦生は西の玄関口、三重県の玄関口でもあるので、ここに風穴を開けるということは名張だけでなく三重県にも影響する。

学童の交通安全、通学路の確保、ガードレールなど配慮していただきたい。

また、河川の問題で言えば、河川敷を利用した散策道、サイクリングできるような車の入らない道路をつけていただくと、健康増進にもつながる。名張大橋から下に堤防がなく、黒田区としては単独でお願いしている。堤防ができると堤防沿いに道がつながり散策道もできる。

最後に欲を言うと、165号はつながっているが、内陸部は道が途切れ途切れになっている。消防車、救急車がどのあたりにも入れるような、また子どもたちが安全な内陸部を通して通学できるように配慮いただきたい。

A(市長)宇陀川の護岸、名阪国道へのアクセス、通学路の整備、河川敷などは国土交通省と県にお願いしていきます。最後の内陸部の道路の問題は、市道になると思いますので、すぐにとはいきませんが、勉強させていただきたいと思います。

(総合企画室長)錦生地区はすばらしいプランを作成いただいています。他の地区とあまりばらつきがあってはいけないので、若干トーンを抑えたかたちになっていますが、将来的には全面的に見直し、みなさんのご意見を反映したいと考えています。ご指摘いただいた表現等は修正させていただきます。

(市長)総合計画の取り組みをこれからしようという中で、地産地消などかなり先駆的な取り組みをなさっています。

Q(参加者)説明を聞いてよくわかった。視点がしっかりしている。基本的な姿勢もしっかりしていて、夢も踊っている。文章はやや美文調だが、こうあるべきということを欠いているので、仕方がないと思う。しかし、戦略の部分がやや希薄。もっと力をいれていただければありがたい。

A(市長)これから肉付けしていくのが戦略の部分です。

5. 閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきまようによろしく申し上げます。(司会)